



うま やかた てん き せん 馬の館の伝馬船

都井岬四季報通信

都井岬ビジターセンター・企画編集

2008年9月発行 Vol.6

電話・FAX:0987-76-1546

宮崎県串間市大字大納 42-1

月曜休館日 開館時間 9:00~17:15

魅力探訪

天高く馬こゆる秋

朝夕の風が過ごし易くなってきましたね！岬を吹き抜ける風に、馬も気持ち良さそう。夏の日中は暑いので、休みの時間が多かった野生馬たちも、秋には食欲全開！本領発揮！年間で最も良く食べる季節です。この時期、馬たちが出すバフン量は、1頭あたり1日で30kgを超えます！エサが少なくなる冬にむけて、頑張ってお食ひなければなりません。馬の妊娠期間は11ヶ月あるので、来年春に生まれる新しい命は、すでに宿っています。



咲いた咲いた 季節の動植物

9月に入り、今年は急に涼しくなりました。例年は9月最後の週あたりに見ごろを迎える彼岸花ですが、今年は1週間ほど花期が早くなりそうな予感がします。あの世の花として悪い印象をお持ちの方もいらっしゃいますが、青い海を背景に、草原を赤く染める彼岸花の景色は必見です。この植物は、初秋に花だけ咲かせますが、冬になるとニラの様な扁平の葉を出して光合成します。他の植物が枯れる冬に自分だけが光を浴びようという作戦です。



野

生馬の岬で

働いている地元スタッフが旬の話題をお届けします☆四季彩々の表情をもつ岬を身近な目線からお伝えする都井岬四季報です

馬なり日々の

スタッフコラム

明治時代、都井岬には、軍馬の改良を目的に1頭のアメリカントロッター系種牡馬が導入されました。この特徴を残す個体は、本来の岬馬ではないとされ、文化財の天然記念物から除外されます。この『文化財でない岬馬』は、飼育して調教したり、乗ったりする事も可能な訳ですが、未調教の荒れ馬では、なかなか貰い手が見つかりません。現在こうした馬が10頭以上も居るのですが、在来馬・調教師の酒井氏の協力で、簡単な予備調教を施すよう体制づくりが始まりつつあります。せめて、引き馬乗馬くらいできる状態にして出せば、岬馬の価値を高めることにもなり、岬馬保護のお金もできるのではないかと期待しています。

館の掲示板

～ビジターセンター便り～

涼しくなり、遠足や行楽の増える季節です。都井岬の草原には、春よりも秋のほうが、多種多様な草花が咲いて、草原を歩くと心地良いです。今年も各地の小学校から、遠足などで子供たちが来てくれることでしょう。また、秋にはシルバーのカップルが、レンタカーで行楽に来られることが多いです。年を経ても仲良く旅行にゆくなって、とても素敵ですみなさんの笑顔のために、今日も元気に都井岬を案内したいと思ひます。

